

R 7. 12. 23

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

進路だより



師走も終盤を迎え、年の瀬が近づいてきました。今回の進路だよりでは、小学部進路説明会・講話会、中学部第3学年の産業現場等における実習、夏休みに実施した進路セミナー、高等部第1学年後期校内実習、企業向け学校見学会の様子をお伝えします。中学部は初めての校外での実習でしたが、これまで積み重ねてきた経験を生かして、緊張感をもって取り組むことができました。高等部の実習においても、1学期の実習の反省点や自分の長所を見直し、精一杯頑張ることができました。

中学部、高等部の生徒ともに自身の将来と向き合うよい機会になりました。

小学部 進路説明会・講話会

7月3日（木）に、小学部の進路説明会・講話会を開催し、30名以上の保護者の方々に御参加いただきました。説明会では、「小学部進路の手引き」を参考に、小学部のキャリア教育のポイントや子どもたちの成長を促すための接し方と支援方法についてお話をさせていただきました。講話会では、「福祉事業サービスの制度や利用について」と題し、障がい者相談支援センターの職員の方より、卒業後に使える福祉サービスについて、事業所の探し方や将来を見据えて小学部のうちからやっておくことなど事業所側、利用者側などの様々な視点から具体的に御説明させていただきました。

参加された保護者の方からは、「生活介護と就労継続支援B型の大まかな違いと選び方のポイントが分かりやすかった」「子どもの卒業後を具体的にイメージするきっかけとなった」などの感想が寄せられ、将来の進路について改めて考えていただけるよいきっかけになったのでは、と思います。

来年度以降も開催し、保護者の方々にとって分かりやすく、お子さんの進路について考えていただける機会にしたいと思います。

中学部第3学年 産業現場等における実習

6月30日（月）から7月4日（金）までの五日間、産業現場等における実習を実施しました。この実習では、校内で三日間の実習を行い、居住地域にある障害福祉サービス事業所で二日間の体験実習を行いました。

校内実習では、ボルトナットの組付け・分解やボールペンの組立てなどの軽作業を通して、「挨拶・報告・相談」を意識して作業を行い、校外での実習に向けて、それぞれの目標をもって学習に取り組みました。

校外での実習では、生徒の多くは緊張し、不安そうな様子で初日をスタートしました。「就労継続支援B型事業所」「生活介護事業所」それぞれの事業所で活動内容や雰囲気は異なっており、終日作業に取り組むところもあれば、午後からは創作活動やレクリエーションに取り組むところもありました。二日間の実習でしたが、実習を終えて登校すると実習先での様子や活動内容を友達同士で話したり、教師に教えてくれたりして、とても有意義な時間になったことが伝わりました。普段の学校生活とは違う環境の中で、いろいろな方々と関わりながら活動できたことはよい経験となりました。今回の経験を将来の進路決定に生かしてほしいと思います。



進路セミナー

7月30日（水）に、小学部第5・6学年、中学部全学年の保護者を対象にした進路セミナーを開催しました。40名以上の多くの保護者の方に御参加いただきました。

前半は「卒業後へ向けての取り組みについて」と題し、進路指導主事より、本校高等部の進路決定の流れや高等部の学習について、高等部卒業後の1日の生活の流れ、働くために必要な力とそれを身に付けるためにすべきことなどについて具体例を挙げながら御説明させていただきました。

後半は学区内の各市福祉課の方々に来ていただき、「地域別進路相談会～聞いてみよう！福祉サービス～」を実施しました。各市のブースに分かれて居住地の福祉サービスについて話を聞いたり、質問したりと福祉課の方と直接話を来て大変盛り上がっていました。

参加された保護者の方からは、「動画や事例があり、分かりやすくてよかった」「少しイメージがもて、今後も積極的に情報収集や窓口を活用していきたい」などの御意見をいただきました。

今年度の振り返りを生かして、来年度も内容をよりよくしていきたいと考えています。



高等部第1・2学年 後期校内実習

10月20日（月）～10月31日（金）の2週間、高等部の後期校内実習がありました。前期と同様に、企業や事業所に見立てた六つの作業班を設置し、それぞれの班に分かれて実習を行いました。

第1学年は、初めて2週間の実習を行いました。体力や集中力が課題になる生徒が多くいましたが、働くための基本となる挨拶や返事、報告、態度などは普段の学校生活よりも意識して取り組み、段々と身に付いてきたように感じます。

第2学年は、今までの経験を生かし、周囲の状況に目を配りながら、準備や後片付けを進んで行ったり、周囲に言葉を掛けたりするなど積極的に作業に取り組む姿が見られました。

2週間の実習を通して、働くことの喜びや、仲間との関わりの中で得られる達成感を感じることができたと思います。実習の場面で意識して取り組んでいた挨拶や返事、報告などの基本的な態度を、今後の学校生活でも継続して身に付けていくことで、より成長してくれることを期待しています。



もくもくファクトリー

企業向け 学校見学会

11月18日（火）に企業対象の学校見学会を実施しました。今年度も普段お世話になっている企業を中心に32社50名ほどの方が来校されました。今回の見学会の内容としては、本校の進路状況や実習、学校での支援などの流れを進路指導主事より説明し、高等部の作業学習や校内の施設見学を行いました。また、昨年度に引き続き3グループに分かれて情報交換を行い、企業の方から障害者雇用における課題や対処方法など意見を出し合ってもらいました。

見学会後に回収したアンケートには、「企業側からの視点や話を聞いてとてもよかったです」「同じ悩みの企業があるんだということが分かってよかったです」「特別支援学校の取組内容と障がい者の一般就労に向けた基礎知識の習得活動などの話が聞いてよかったです」など多くの御意見を伺うことができました。本校の生徒たちが元気よく挨拶する姿や作業を頑張っている姿に感銘を受けている方が多く見られました。

今後も進路先の事業所や企業の方々に本校のことをよく知ってもらうために、今回のような見学会や説明会などを実施し、生徒たちが卒業後の進路を決める際に必要な情報を収集したり、進路先と連携したりできるような体制づくりに努めていきたいと思います。